

経営力向上支援事業の進捗状況について

〔 令和2年8月19日  
農業経営発展課 〕

1 要旨

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、担い手育成に取り組んでいる経営力向上支援事業について進捗状況を報告する。

2 進捗状況

(1) ひろしま農業経営者学校

担い手の経営の発展段階に応じて、経営スキル習得などの講座を実施している。

今年度は、各産地において、経営発展チャレンジコースを新設し、経営発展意欲の醸成を図るとともに、経営発展実践コースへの参加を促し、経営計画の策定方法等の習得を支援している。

【開催概要】

コース	開講時期	開催場所	対象者・内容等	定員
(新規) 経営発展チャレンジコース	7/28～ (2日間)	①江田島市 ②呉市倉橋町 ③尾道市因島地区 ④尾道市瀬戸田町	対象:開催地域の若手農業者 内容:経営者としての心構えや経営理念の重要性を理解し、自身のライフプランを作成する。	40名 (各10名) 実績52名
(新規) 経営発展実践コース	8/17～ (6日間)	①呉市倉橋町 ②尾道市因島地区	対象:チャレンジコース受講者のうち経営発展を志向する農業者等 内容:財務、雇用など経営発展に必要な経営スキルを習得し、経営者としての事業計画を作成する。	20名 (各10名) 実績22名
経営開始コース	11月中旬 (6日間)	広島市内	対象:新規就農者、就農予定者 内容:経営初期に必要な基礎スキルを習得する。	20名
課題解決コース	1月中旬 (3日間)	広島市内	対象:経営発展に取り組もうとする農業者 内容:組織運営に必要な人材育成や計数管理のスキルを習得する。	10名

(2) 企業経営化支援（チーム型支援）

各経営体が抱える課題のうち、特に今年度は、企業経営へ転換に向けた重要課題である人材育成の仕組み、予算・実績管理の徹底に絞り、経営や人事のコンサルを派遣している。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、現地への派遣は最低限に抑えながらも、ウェブ会議システムを有効に活用しながら支援を行っている。

【対象経営体と支援状況】

経営体	市町	栽培品目	支援状況
A	安芸高田市	水稻, 青ねぎ等	・各経営体において、コンサルが、代表者や役員、従業員それぞれに対し、会社の良い点・悪い点、自身の役割等に関するヒアリングを実施 ・ヒアリング結果をもとに、人材育成や予算・実績管理に係る今後の取組を提案
B	安芸高田市	水稻, 青ねぎ等	
C	江田島市	トマト	
D	神石高原町	水稻, 繁殖牛等	
E	庄原市	キャベツ等	
F	世羅町	酪農等	

### (3) アグリ・フード マネジメント講座（農業MBAスクール）

県立広島大学と連携し、イノベーションを生み出すための経営戦略を考える講座を開催する。

- ア 受講時間 60 時間（1 日 6 時間×10 日間）
- イ 開催場所 サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター）
- ウ 定員 20 名
- エ 受講料 10 万円
- オ 講義の進め方 県立広島大学の担当講師のコーディネートにより、ゲスト講師から提供される事例について議論を行うことにより、実践的な経営スキルの習得を図る。

#### 【カリキュラム】

ターム・テーマ		日程	講義テーマ等	ゲスト講師
オリエンテーション		11/1 (日)	自己紹介, 自己分析等 ポストコロナ時代の日本の農業	吉川成美(県立広島大学 MBA 教授) 本講座のファシリテーター
			農業技術の新しい波	山田眞次郎(県立広島大学 MBA 客員教授) 人工光型植物工場に特化したシステム開発等を行う事業家としても活躍
第1	未来を創るマーケティングプラン	11/15 (日)	課題を解決する農と食のデジタルマーケティング	(株)キッチハイク グルメアプリを運営する同社は、飲食チケットを購入するコロナ応援プロジェクトを展開中
		11/29 (日)	栽培データの活用で、農家の「こだわり価値」を最大化する	(株)ビビッドガーデン 農家が個人や飲食店に“直接”商品を販売できる「食ペチョコク」を運営
		12/13 (日)	生産者と消費者を直接つなぐ CtoC プラットフォーム	(株)ポケットマルシェ 農家が直接ネット上で旬の食材を出品・販売するオンラインマルシェを運営
第2	高効率農業経営のためのマネジメント	12/20 (日)	企業的な農業経営のための人材マネジメント	(株)井出トマト農園 (株)BOLBOP スタッフのやる気を引き出す人材管理を実践する農業法人と人材育成のコンサルタントがコラボレーション
		1/17 (日)	農業×ICT, 持続可能なスマート農業の最適化	(株)ルートレック・ネットワークス AI 灌水施肥システム「ゼロアグリ」の提供などスマート農業を推進
		1/31 (日)	行動につながる実践的な課題解決とマネジメント	ファームサイド(株) 阿部梨園の経営改善を行ってきた従業員が設立した農業経営のコンサルティング会社
第3	ビジネスデザインの実現方法	2/14 (日)	事業間連携による課題解決手法	(有)鍋八農産 トヨタ自動車(株)アグリバイオ事業部農業支援室 水稲 200ha を経営する農業法人が、トヨタと提携して生産改善の取組を実践
		2/20 (土)	地域社会をリードする次世代のビジネスモデル	(株)eumo 「共感」が資本となる社会を目指し、「美意識」と「人間力」を育てる組織を支援する投資会社
最終報告会		3/6 (土)	ビジネスプラン発表	

※ カリキュラムの詳細は変更となる可能性があります。